

消 防 費

・消防費

常 備 消 防 費

政 策 総 務 課

(1) 乙訓消防組合

乙訓消防組合に対し、分担金を負担した。

322,331,000 円

非 常 備 消 防 費

政 策 総 務 課

(1) 消防団は郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、団長以下一致団結し、防火防災活動を行った。

事 業 名	実施年月日	参加者数	場 所
ポンプ運用強化訓練	H29.5.14、21、6.11	34 人	大山崎消防署駐車場
初級団員教養訓練	H29.5.21	34 人	大山崎消防署駐車場
大山崎町水防訓練	H29.6.4	30 人	大山崎町大山崎五畝割地内
団本部計画訓練	H29.7.2	27 人	大山崎消防署北東名神高架下多目的広場
普通救命講習	H29.8.6、9.3	36 人	大山崎町立中央公民館
乙訓ドリームフェスタ 消防団コーナー	H29.9.3	5 人	大山崎町夢ほたる公園
幹部教養訓練	H29.10.1	31 人	大山崎消防署駐車場
活性化事業	H29.10.1	19 人	ホテルエミナース京都
天王山ゆひまつり(消防フェスタ) 消防団コーナー	H29.11.5	10 人	大山崎消防署
秋の火災予防運動に伴う広報パトロール	H29.11.9～14 6日間	延べ33人	大山崎町管内
大山崎町防災訓練	H29.11.26	29 人	大山崎町管内及び大山崎中学校
年末特別警戒	H29.12.25～30 6日間	延べ136人	大山崎町管内
大山崎町消防出初式	H30.1.7	52 人	大山崎中学校
文化財防火運動に伴う消防訓練	H30.1.21	18 人	宝積寺
京都府消防大会	H30.2.4	20 人	京都コンサートホール
春の火災予防運動に伴う広報パトロール	H30.3.1～6 6日間	延べ38人	大山崎町管内
乙訓二市一町総合消防訓練	H30.3.4	10 人	向日市立西ノ丘中学校

(2) 消防団は火災予防にも積極的に取り組むとともに、府立消防学校に団員を派遣し、各種の教育を実施した。

また、研修のため管外へも団員を派遣し、情報収集や見聞を広め、団員の資質向上に努めた。

○京都府立消防学校派遣研修

消防団員専科教育警防科	1日	3人	京都府立消防学校
-------------	----	----	----------

消防団員幹部教育初級幹部科	1日	2人	京都府立消防学校
---------------	----	----	----------

消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程	1日	3人	京都府立消防学校
---------------------	----	----	----------

○消防団幹部管外研修	2日	6人	東京都
------------	----	----	-----

○乙訓支部管外視察研修(自治体消防70周年記念式典)	2日	3人	東京都
----------------------------	----	----	-----

(3) その他

消防団は、毎月自主訓練を行っているほか、消防車両を常時出動可能な状態にしておくため機関点検等を行うなど、万一の災害に備えている。

消 防 施 設 費

政 策 総 務 課

(1) 水道事業会計負担金	3,480,000 円
---------------	-------------

消火栓等維持費

公設水利の維持管理費用

消火栓	236箇所
-----	-------

防火水そう	54箇所
-------	------

}

290箇所×1,000円×12ヶ月

水 防 費

政 策 総 務 課

(1) 水防出動に備え、水防活動に必要な資器材を購入した。

水防活動用資材(土のう袋、ブルーシート、コンパネ、垂木、訓練用砂他)	173,223 円
------------------------------------	-----------

(2) 桂川・小畑川水防事務組合

京都市・長岡京市・大山崎町で構成する水防事務組合の負担金	280,000 円
------------------------------	-----------

水防事務組合水防訓練

訓練日 : H29.5.7

場 所 : 淀川右岸淀大橋下流河川敷

〈資料1〉 火災概要(過去3年間)

区分 \ 年別		平成27年	平成28年	平成29年	昨年との比較増(減▲)
火災件数	計	6	4	3	▲1
	建物	3	1	1	0
	車両	1	1	1	0
	林野	0	0	0	0
	その他	2	2	1	▲1
建物焼損床面積(㎡)		0	0	0	0
建物焼損表面積(㎡)		3	0	1	1
林野焼損面積(a)		0	0	0	0
焼損棟数	全焼	0	0	0	0
	半焼	0	0	0	0
	部分焼	1	0	1	1
	ぼや	2	1	0	▲1
り災人員		4	0	5	5
り災世帯	全損	0	0	0	0
	半損	0	0	0	0
	小損	1	0	2	2

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

区分 \ 年別		平成27年	平成28年	平成29年	昨年との比較増(減▲)
死傷者	死者	0	0	0	0
	負傷者	0	1	1	0
損害額(千円)		1,756	126	644	518
主な火災原因	たばこ	0	1	0	▲1
	こんろ	1	1	0	▲1
	火入れ	0	0	0	0
	たき火	0	0	0	0
	火あそび	1	0	0	0
	こたつ	0	0	0	0
	電気機器	1	0	1	1
	配線器具	0	0	0	0
	放火・放火の疑い	0	0	0	0
	その他	3	2	2	0
	不明	0	0	0	0
	計	6	4	3	▲1

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

〈資料2〉救急活動概要(過去3年間)

区分 \ 年別		平成27年	平成28年	平成29年	昨年との比較増(減▲)
出 動 件 数		1,096	1,104	1,093	▲11
取 扱 件 数		1,025	1,040	1,024	▲16
事 故 別	交 通 事 故	129	125	122	▲3
	急 病	657	671	648	▲23
	一 般	175	182	194	12
	そ の 他	135	126	129	3
救 護 人 員		1,039	1,054	1,030	▲24

事故別の出動状況をみると急病が648件と最も多く、全体の約 60%を占めた。

(乙訓消防組合統計より)

大山崎消防署が出動した件数で、町外への出動を含む。

〈資料3〉消防団の出動状況(平成29年度中)

区分 種別		計	災 害 出 動				演 習 ・ 訓 練	広 報 活 動	研 修 ・ 会 議	機 関 点 検	特 別 警 戒	そ の 他
			火 災	う ち 林 野	捜 索 活 動	風 水 害 等 の 災 害						
消防団	出 動 回 数	111	0	0	0	1	18	12	26	36	9	9
	出 動 延 人 員	1,071	0	0	0	28	305	71	131	274	136	126

消防団員は、火災、その他の災害による被害を最小限にとどめるため、専門知識の習得、技術の練磨を重ねた。

災害 対策 費

政策 総務 課

1. 災害警戒本部設置状況

各種気象警報等の発表に伴い、災害警戒本部を計5回設置した。

設 置 日	事 象	備 考
平成29年8月7日 (月)	8月7日 午前9時55分 大雨・暴風警報発表 災害警戒本部設置 8月7日 午後11時27分 暴風警報解除 8月8日 午前6時47分 大雨警報解除 8月8日 午前7時00分 災害警戒本部閉鎖	
平成29年8月18日 (金)	8月18日 午前8時5分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 8月18日 午前9時17分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	
平成29年9月12日 (火)	9月12日 午前6時25分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 9月12日 午前7時12分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	
平成29年9月17日 (日)	9月17日 午前10時58分 暴風警報発表 災害警戒本部設置 9月17日 午後4時13分 大雨警報発表 9月18日 午前1時47分 大雨・洪水・暴風警報解除 9月18日 午前2時10分 災害警戒本部閉鎖	9月17日 午後3時30分 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に避難準備・高齢者等避難開始発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に避難所を開設 9月18日 午前1時45分 天王山山麓に発令した避難準備・高齢者等避難開始を解除
平成29年10月21日 (土)	10月21日 午後10時3分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 10月22日 午前10時35分 洪水警報発表 10月22日 午後3時23分 暴風警報発表 10月22日 午後9時15分 土砂災害警戒情報発表 10月23日 午前5時10分 土砂災害警戒情報解除 10月23日 午前6時7分 暴風警報解除 10月23日 午前7時42分 大雨・洪水警報解除 10月23日 午前8時30分 災害警戒本部閉鎖	10月22日 午後3時00分 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に避難準備・高齢者等避難開始発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に避難所を開設 午後9時20分 避難勧告(土砂)発令 10月23日 午前0時30分 JR線路よりも東側(桂川側)の方3,300世帯7,800人を対象に避難準備・高齢者等避難開始発令 大山崎小学校と大山崎中学校に避難所を開設 10月23日 午前2時40分 避難勧告(洪水)発令 午前4時50分 避難勧告(洪水)解除 大山崎小学校と大山崎中学校の避難所を閉鎖 午前5時10分 避難勧告(土砂)解除 全避難所の閉鎖

2. 防災パトロール

大山崎町地域防災計画に基づき、梅雨期とそれに続く台風襲来期を迎えるにあたり、防災関係機関の協力を得て、災害時に危険が予想される箇所の総点検を実施し、防災上必要な対策を検討し、万全を期すことを目的に実施した。

○実施日：平成29年5月23日（火） ○参加者数：28名

○パトロール箇所：久保川浚渫箇所、仏生田第2受水場、大山崎排水ポンプ場

3. 自主防災組織の支援

○自主防災組織の活動を支援するため、自主防災活動補助金を支出した。（計12団体）

○自主防災組織の資機材購入を支援するため、コミュニティ助成事業補助金を支出した。（計9団体）

4. 防災訓練の実施

町職員の災害対応力を向上させ、関係機関との連携を強化するとともに、住民の自主防災活動を促進することにより、地域の防災力を高めることを目的として、総合防災訓練を実施した。

○主催：大山崎町防災会議

○日時：平成29年11月26日（日） 9時00分から

○場所：大山崎中学校、ふるさとセンター、大山崎小学校、第二大山崎小学校

○想定状況：台風接近による長雨とそれに伴う桂川氾濫の危険性の上昇

○参加機関：対象区域自治会・町内会・自主防災組織（住民参加約200名）、町、大山崎消防署、大山崎町消防団、向日町警察署、自衛隊、淀川河川事務所、乙訓土木事務所、乙訓保健所、ダイハツ工業、マクセルホールディングス、関西電力、大阪ガス、NTT西日本、都タクシー、大山崎町災害ボランティアセンター（町社会福祉協議会）、防災備蓄事業者

○内容： 災害対策本部の運営訓練、地域住民の避難行動訓練、避難者移送訓練、防災講演会、防災フェア（災害救助訓練等、災害対応車両展示、災害関連展示及びPR、炊き出し訓練、防災グッズ展示、ボランティアセンター関連展示及びPR、マンホールトイレ・発電機などの展示）

5. 情報通信手段の確保

町内全域に一斉に避難情報などを伝達する手段として、同報系防災行政無線を整備し、町内8ヶ所に屋外スピーカーを配置した。

避難所における多様な情報手段を確保するため、大山崎中学校及び町体育館に「OYAMAZAKI FreeWiFi」を整備し、5ヶ所の指定避難所全ての整備を終えた。

6. 防災資機材等の整備

備蓄用の飲料水、食料及び非常用毛布を調達、避難所に配備した。

7. 防災啓発の実施

○出前講座:防災に関する出前講座を計9回実施し、延べ241名の方が受講した。

○広報:4月号から12回にわたり「広報おおやまざき」に防災記事を掲載し、住民の防災意識の高揚を図った。